

人権学習 ～10月授業参観～

1年 「はしの上のおおかみ」

1年生の子どもたちは、まだまだ自分中心の考え方をすることが多く、自分勝手な行動を押し通そうとして友達とけんかになったり、周りの人に迷惑をかけたりすることもある。この教材でおおかみと、大きなくまとの関わりで変化した気持ちを考えることを通して、誰に対しても思いやりの心を持って接することの大切さに気づくことができた。



2年 「およげないいすさん」

このお話のように、なにげなく仲間はずれにしてしまう状況は、低学年における友達とのトラブルとして見られる状況です。こうした場面について考えることを通して、友達と仲良く遊ぶことの良さや、友達のことを考えて助け合うことの大切さについて話し合い、考えることができました。



3年 「よわむしたろう」

学校生活の中で、友だちが嫌な思いをしたときに、友だちを気遣う優しさや思いやりの心を持っていても、その子を守ってあげるための言葉や行動が出せない子もいます。学習を通じて、大切なものを守るためには、勇気をもって行動することの大切さに気づくことができました。



4年 「泣いた赤おに」

二人の鬼の行動についてや、赤おにの後悔、なぜ青おには赤おにのためにそこまでできたのかなどを考え、「友だちと関わる中で、大切なものは何か」について考えました。



なかよし・ひまわり学級 「ハロウィンリース作り」

折り紙で、かぼちゃやおばけ、魔女などを折り、難しいところはおうちの人に助けてもらいながら、台紙に貼る位置を考えて仕上げました。和やかな雰囲気の中、日頃の学校の様子を知ってもらうことができ、おうちの方同士の交流にもなりました。



5年 「わたしのせいじゃない ～責任について～」

一人の男の子が泣いている。始まりは知らない、みんながやったんだもの・・・といいわけが続く。責任について考えるスウェーデンの絵本です。「わたしのせいじゃない」と普段の生活の中で使ってしまうという子どもたち、どんな時に使っているのか尋ねると、「叱られるかもしれないという時」「自分が悪いことをして怒られると思う時」と答えた。自分の考えや、友達の考えや意見、実際に感じた時の感情を思い出しながら、登場する15人の子どもたちの責任について考えることができた。



6年 「権利の熱気球」

いろいろな権利の中から自分たちなりに優先順位をグループで話し合い、人権の大切さを考えるとともに、友達の意見を聞き深めることができた。

